

昇降コードの交換方法（ポール式）

ブラインド

対応製品：シルキー・シルキーカーテンのポール式
 （平成12年4月以降に販売した商品に対応します。それ以前の商品につきましてはお問合せください）
 必要工具：マイナスドライバー、ライター、はさみ、ラジオペンチ

まず交換用の昇降コードを用意してください。昇降コードの長さは次の計算式で算出してください。

n：昇降コード本数 W：製品幅（m） H：製品高さ（m）

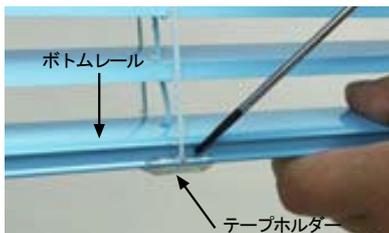
$$n \times (H + 0.1) + \frac{n}{2} \times W$$

ご注文時には製品名、サイズ、色、必要m数をご連絡ください。製品名、サイズ、色はメンテナンスシールに記載してあります。
 （メンテナンスシールの見方は「メンテナンスシールの見方」のページをご覧ください）

▶ 昇降コードがまだ切れていない場合

難易度 ★★★（DIYが得意な方向けです）

1 ボトムレール下側についているテープホルダーを、先端が細いマイナスドライバーで取外してください。



2 ボトムレール内から昇降コードを引き出し、結び目をほどいてください。



3 結び目をほどいた古い昇降コードに新しい昇降コードをライターの火であぶって溶着してください。



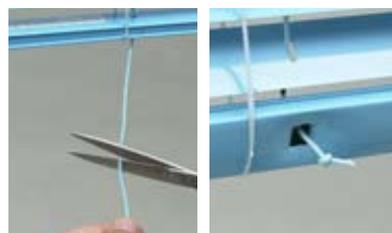
4 溶着したら手で引っばって切れないことを確認してください。



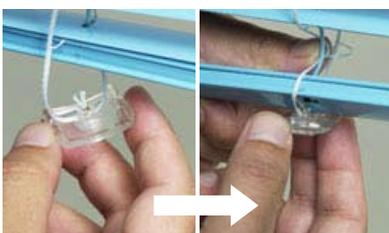
5 操作側から新しい昇降コードが出てくるまで古い昇降コードを静かにゆっくりと引き出してください。新しい昇降コードはストッパーの部分から約25cmほど長くなる程度に引出してください。引出し終わりましたら、溶着部分をはさみでカットしてください。



6 ボトムレール側の昇降コードをカットして結び目を作り、ボトムレールの中に押し込んでください。



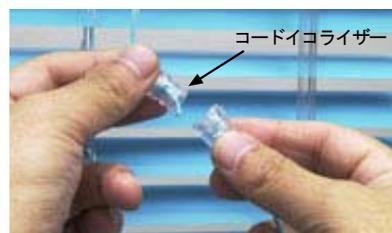
7 ボトムレールにテープホルダーを取付けてください。高さ調整機能がついているテープホルダーは写真のようにラダーコードをセットして取付けてください。



8 ブラインドを一番下まで降ろして、製品の中を通っている昇降コードにたるみがないようにした状態で、操作側の昇降コードをストッパーから25cmの位置で長さをそろえてカットしてください。



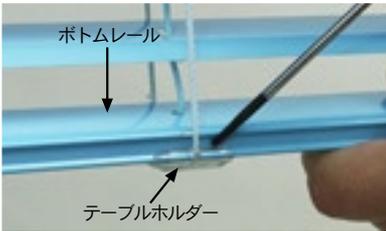
9 古い昇降コードからコードイコライザーを取外して、新しい昇降コードに取付けて、抜けないように結び目をつくって合わせてください。



▶ 昇降コードが切れてしまっている場合

難易度 ★★★★★ (ある程度ブラインドの構造が分かっている上級者向けです)

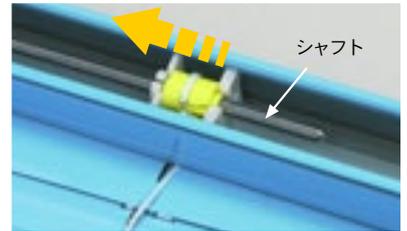
1 切れてしまっている昇降コードをすべて取り除いてください。このときボトムレール下側についているテープホルダーをマイナスドライバーで取外して、ボトムレールを通っている昇降コードも取外してください。



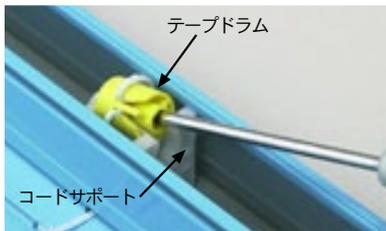
2 シャフトが動かないように固定しているすべてのEリングをラジオペンチで取外してください。



3 シャフトを横に引き抜いてください。



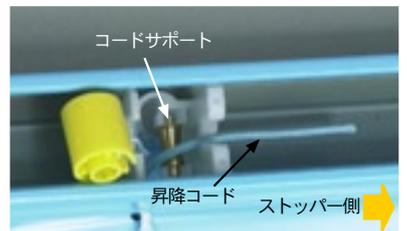
4 テープドラムを先端が細いドライバーでコードサポートから取外して下さい。



5 新しい昇降コードをコードサポート下部の穴から差し込んでください。



6 ヘッドボックス内側のコードサポート内に出てきた昇降コードは、写真のように取り回してください。



7 ストッパーまですべての昇降コードを通してください。このとき昇降コード同士がからまないように通してください。



8 ストッパーのひも分けピンの部分では昇降コードは別々に通してください。

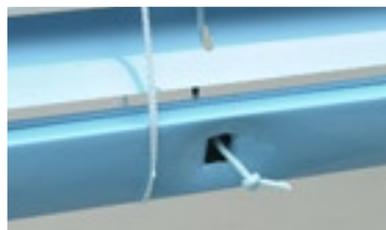
9 ②～④の逆の手順でテープドラム、シャフトを組み立ててください。



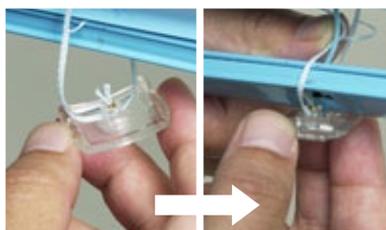
10 新しい昇降コードをスラットの穴に通してください。このとき昇降コードはラダーコードの横ピッチ線を5～6本ごとに交差するようにしてください。



11 ボトムレールの穴に昇降コードを通しましたら、コードの先端に結び目を作ってください。



12 テープホルダーを取付けてください。高さ調整機能がついているテープホルダーは写真のようにラダーコードをセットして取付けてください。



13 つぎに操作側の昇降コードをストッパーから約25cmの位置で長さをそろえてカットしてください。



14 古い昇降コードからコードイコライザーを取外して、新しい昇降コードに取付けて、抜けないように結び目をつくって組合わせてください。

